



『何だか、自然がどんどん少なくなっていくみたい』
 『これって、いったいどういうコトなんだろう?』
 と不安そうなおらちゃんとうみくん。
 そんなふたりに、りくちゃんが話しかけました。
 『ボクは知ってるでしゅ。いろんな本を読んで、勉強したんでしゅ。
 ぼくたちの星には今、環境破壊がおこっているのどしゅ』
 『カンキョウハカイ???』と驚いたおらちゃんとうみくん。
 『誰のせいでそうなっちゃったのかな?』

汚染物質のせいで酸性になった雨は森の木が枯れる原因の1つ。雨はいろんな場所に降るから、影響を受けるのは木だけじゃなさそう…

注意 10

注意 9

オゾン層にいた穴(オゾンホール)から、有害な紫外線が降り注いでいるよ。

注意 8

地球をとりまく温室効果ガスが増えたために、今、地球はコートを着込んだような状態に。暑くても脱げないよ～。



注意 8

地球温暖化が進んでいくとどんな影響が起こってしまうの?

地球の温暖化とは産業や人間の活動が活発になりエネルギーを多く使ったことから、地球をあたためるはたらき「温室効果」をもたらしやす気体(温室効果ガス)が増え、それによって地球の気温が上がることで(11ページ参考)。

このまま対策がなされなければ地表の平均気温は21世紀末までに1.4～5.8℃上がり、海面水位は9～88cm上昇すると予測されています。南極や氷河の氷が溶けて、低い土地が海に沈んだり、豪雨やかんばつなどの異常気象により食糧不足が起こるなど、大きな影響をもたらすことが予想されています。

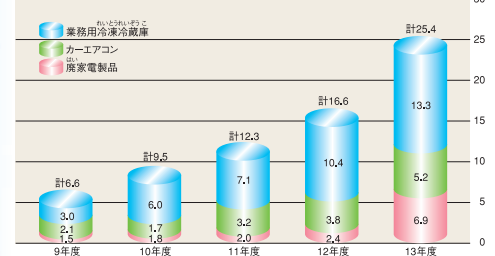
愛媛県では「愛媛県地球温暖化防止指針」を策定して、県民、事業者、自治体が協力して地球温暖化を防ぐ取り組みを行っています。私たちも毎日の生活を見直して、温暖化を防ぐ工夫をしていかなければなりません(17・18ページ参考)。

注意 9

私たちの生活を守るオゾン層がこわれてしまってる?

地球の周りがあるオゾン層は、太陽光線に含まれる紫外線の大部分を吸収し、私たちの生活を守ってくれています。しかしこのオゾン層が「フロン」という物質にこわされています。フロンは冷蔵庫やエアコン、スプレーなどに使われていたが、フロンの生産規制を行い回収を進めています。

愛媛県におけるフロン回収量の推移 (トン)



注意 10

日本でも観測されている酸性雨!

普通の雨は、空気の中にある二酸化炭素がとけ込んで、やや酸性になっています。でも、工場や車から出た大気汚染物質が大気中で雨や霧にとりこまれたら、雨や霧が強い酸性になることがあります。この雨を「酸性雨」といいます。汚染物質は気流に乗り遠くへ運ばれるため、酸性雨は国境をこえて降ります。酸性雨が原因で、森林が枯れたり、湖や沼に生き物が住めなくなったりすることもあります。また文化財の建物や銅像が溶けたりする被害などもあります。

現在のところ日本では目立った被害はあらわれていませんが、将来のために東アジア地域の国々と協力して、広い地域での酸性雨の調査を進めています。愛媛県では年間を通じて雨を採取して、酸性の度合いを調べています。